

令和6年度パース日本人学校入学式における祝辞（令和6年4月15日）

朝夕の肌寒さが際立つ毎日となりました。来賓を代表してお祝い申し上げます。

小学校に入学される5名の皆さん、ご入学おめでとうございます。お友達がたくさんできますね。パース日本人学校は、お兄さんお姉さんが家族のように優しく接してくれる学校です。素晴らしい先生方や新しいお友達と一緒に、本を読んだり、歌ったり、運動したり楽しい毎日が始まります。先生方のお話を良く聞いて、今日からお勉強も遊びも元気よく楽しんで下さい。

中学校に入学される4名の皆さん、ご入学おめでとうございます。感動的な卒業式にも出席しましたが、皆さんは小学校で学んだことや自信を土台にして大人への階段を歩んでいけます。豊かな感受性で様々なことを吸収して下さい。目から鱗がとれるように見えてくる筈です。自分の考えをもち、夢を模索し、目標に向かって粘り強く勉強や学校活動にとり組んで下さい。友達と語り合っただけで考えを深め、問題があればより良い解決の道を考え、日本や世界も見つめながら自らの力を磨いて下さい。寺本校長先生が言われたように原石を磨いてダイヤモンドになって下さい。

私自身も日本人学校出身です。家内も元日本人学校教員で、3人の子供たちも日本人学校で勉強しました。私は日本人学校での中学生時代に今でも戻りたいと思うことがあります。感受性豊かな中学生時代は人生の中で最も貴重な時代です。ひとコマ、ひとコマを大切に、心の中でシャッターを押して下さい。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。私共の経験からも、海外での生活で、日本にいたのでは得られない子供との親密な時間を実感されていることと思います。子供たちの成長に親身に寄り添うことのできる生活は、親にとっても子供にとってもかけがえのない時間です。海外の生活で強まる「家族力」の強さは、帰国後の進学や、その後の就職を含め、飛躍を後押し、課題に立ち向かう力になるものと思います。

最後になりましたが、寺本校長先生をはじめパース日本人学校の先生方、学校運営委員会、学校を支える関係者の皆様の日頃のご尽力に対して心より御礼を申し上げます。皆様のご理解ご協力のおかげで、ラグビー体験、南極観測船しらせ視察、パース日本祭りでの演舞の披露と、楽しみながら友好の輪を広げる活動に生徒の皆様もご参加頂き心より感謝を申し上げます。なお、砕氷艦しらせは4月8日に無事横須賀港に到着し、第10回パース日本祭り参加者は過去最高の2万人を越え、日本人学校にラグビー教室をしてくれた東京山九フェニックスについては、地元ウェスタンフォースに残った柏木那月・小牧日向両選手の活躍もあり、同チーム結成以来のスーパーラグビー準決勝出場となりTVでも紹介されていることを併せて報告します。

情熱とホスピタリティ溢れる日本人コミュニティのもとでパース日本人学校の子供達が温かく育てられていることを嬉しく思います。ありがとうございます。

本日はご入学おめでとうございます。

令和6年 4月15日

在パース日本国総領事 内藤 康司